

新聞活用の手引き

＜令和2年度新聞を活用した教育活動支援事業＞

令和3年3月

山形県教育委員会

目次

「新聞活用の手引き」について 1

- 「新聞活用の手引き」のねらい
- 学習指導要領に位置付けられている新聞活用
- 新聞を活用した学習に係る成果と課題
- 児童生徒の学びにつながる手引きの特長

活用方法

＜小学校＞朝学習等短時間での活用方法

- 活用方法1 クイズや俳句・短歌作りを通して、新聞に親しみながら、必要な情報を読み取る・・・4
- 「クイズで伝える『この記事、いいね！』」
 - 「俳句で伝える『この記事、いいね！』」
- 語彙を増やし、必要な情報を読み取るための指導に対応

＜小学校＞第5・6学年国語の授業と関連させた活用方法

- 活用方法2 写真を手掛かりに記事の文章を読み取る 12
- 「ぼくたち・私たちがくらし『今月の山形』」
 - ～心に残った写真を紹介し合おう～
- 写真と文章を関係付けて、記事の内容を捉えるための指導に対応
- 活用方法3 グラフや図表と文章を結び付けながら記事を読む 22
- 「記事の文章と図表を結び付けながら読み、自分の考えを深めよう」
 - ～わたしたちが住んでいる山形の“今と未来”を伝える～
- 図表と文章を関係付けて、必要な情報を読み取るための指導に対応
- 活用方法4 意見文(提案文)を書くために、新聞から情報を収集・整理する 34
- 「新聞記事から生まれた自分の考えを書こう」
 - ～意見文を書くために、新聞記事を活用して情報を収集・整理する～
- 新聞記事の情報を読み取り、整理して、考えを形成するための指導に対応

＜中学校＞朝学習等短時間での活用方法

- 活用方法5 記事から、郷土のよさや特徴、課題を捉える 40
- 「わたしたちの郷土をFeature」
 - ～興味を持った地域社会に関する記事を集めて、記事を通して考えたことをまとめよう～
- 新聞記事の情報から、社会への興味・関心を高めるための指導に対応
- 活用方法6 社説を通して、様々な考えに触れる 46
- 「社説から社会を捉える」
 - ～社説を読むことを通して、社会の動きや他者の考えを知り、知識や考えを広げる～
- 筆者の主張等から、多面的・多角的な見方・考え方を持つための指導に対応

目次

<中学校>第1～3学年社会等の学習における活用方法

- 活用方法7 年間計画を活用しながら学習関連の記事を収集・整理する52
「タブレットを活用した自分だけのオリジナル資料集作り」
～年間学習計画をもとに、学習に関連する新聞記事を収集しよう～
社会的事象等と学習を関連付ける指導に対応

<中学校>国語の授業と関連させた活用方法

- 活用方法8 相手や目的に応じて、伝える内容を取捨選択・再構成する54
「今年の夏を象徴する出来事をオリジナル新聞で紹介しよう！」
～新聞記事を参考にして表現や構成を工夫して発信する～
相手や目的に応じて、必要な情報を吟味・精選するための指導に対応

- 活用方法9 複数の情報を関係付けて整理し、考えを形成する58
「複数の記事から情報を集めて、スクラップ新聞をつくろう！」
～目的に応じて情報を関係付けて整理し、根拠を明確にしながら自分の考えをまとめる～
目的に合った情報を集めて、活用する指導に対応

- 活用方法10 複数の情報を分類・整理し、目的に合った情報を精査する64
「令和を生きるわたしが紡ぐ今昔物語」
～〇〇〇の移ろい（変わりゆく〇〇〇）～
複数の情報を関係付けて考えをまとめる指導に対応

- 活用方法11 一定の立場で書かれた複数の文章を比較し、批判的に読む70
「新聞の社説を比較して討論する」
文章の構成や論理の展開、表現の仕方について評価する指導に対応

<中学校>第1～3学年総合的な学習の時間等と関連させた活用方法

- 活用方法12 SDGsの視点から記事を読み、学習に活かす74
「SDGsの視点で記事を探して読もう」
～当事者意識を高め、持続可能な社会の創り手となるために～
学習とつながる情報を収集・活用することの充実に対応

- <参考>新聞の特徴78

「新聞活用の手引き」のねらい

山形県教育委員会では、第6次山形県教育振興計画(後期計画)において推進している主体的・協働的な学びや郷土愛の醸成の取組みとして、新聞を活用した教育への支援事業※を行っています。この「新聞活用の手引き」は、事業の一環として、新聞の効果的・効率的な学習への活用を促進することをねらいとしています。

※ 新聞を活用した教育への支援事業:児童生徒の郷土愛の醸成と読解力の向上を目的として、県内小学校5年生から中学校3年生までを対象に、学級毎1部の新聞購読料の1/2を、市町村教育委員会に対して補助する事業。児童生徒の郷土愛の醸成と読解力の向上を目的とする。

学習指導要領に位置付けられている新聞活用

学習指導要領において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善の一つとして、「各種の統計資料や新聞，視聴覚教材や教育機器などの教材・教具の適切な活用を図ること。」(第1章 総則 第3 教育課程の実施と学習評価)を挙げています。また、国語や社会等において、新聞等の活用が示されています。

学習指導要領の主な新聞に係る記載(一部抜粋)

小学校

国語〔第5学年及び第6学年〕2内容〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと 言語活動

ウ 学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。

社会 第5学年 内容〔知識及び技能〕

ウ 聞き取り調査をしたり映像や新聞などの各種資料で調べたりして、まとめること。

中学校

国語〔第2学年〕2内容〔思考力、判断力、表現力等〕C読むこと 言語活動

ウ 本や新聞、インターネットなどから集めた情報を活用し、出典を明らかにしながら、考えたことなどを説明したり提案したりする活動。

社会 第3 指導計画の作成と内容の取扱い

(3)(前略)地図や年表を読んだり作成したり、現代社会の諸課題を捉え、多面的・多角的に考察、構想するに当たっては、関連する新聞，読み物，統計その他の資料に平素から親しみ適切に活用したり，観察や調査などの過程と結果を整理し報告書にまとめ，発表したりするなどの活動を取り入れるようにすること。

新聞を活用した学習に係る成果と課題

～新聞活用支援事業実施状況報告から～

新聞活用支援事業を実施している学校の取組みを、毎年度 10 月に、各市町村教育委員会から報告いただいています。その中から、新聞を活用した学習における成果や課題として挙げられた学校の意見をまとめました。

<成果>

地域や社会への興味・関心の高まり

- 郷土や国内外の出来事について、児童生徒の理解の深まりが見られる。
- 教科書で学習していることと地元のニュースの関連に気づき、地元の出来事に関心を持つ様子がある。

読解力の向上

- 日常的に新聞を読み、言葉の意味を自発的に調べている。
- 文章を正しく読み解き、要旨を捉えることができる。
- 新聞の内容を理解し、学習の情報収集に役立てている。

<課題>

主体的な学びや情報活用能力の育成への発展

- 育成する資質・能力を明確にして、効果的に新聞を活用させたい。
- 児童生徒自らに、年間の学習を見通した新聞記事の収集をさせたい。
- 新聞や地域・社会への興味関心が高まっている。自主学習など主体的な学習につなげたい。

効果的・効率的な学習方法の開発

- 記事のスクラップやスピーチをしているが、その他の学習方法が知りたい。
- 学習時期にタイムリーに関連させる、短時間で継続するなどして、効果的に学習させたい。

手引きは、成果を活かし、課題に対応する活用方法を提案

児童生徒の地域や社会への興味・関心をさらに醸成すること、児童生徒に付けたい力を明確にして指導すること、児童生徒が学習への見通しを持ち、新聞を活用した主体的な学習をすることが、今後も必要です。手引きでは、このような求めに対応する活用方法を掲載しています。

児童生徒の学びにつながる手引きの特長

特長1

地域や社会への興味・関心を広げる

- これまで気付かなかったことに興味・関心を広げることができるよう、地域などの身近な話題や全国的に問題になっていることなどについて、どのような視点を持って読むかを提示しています。
- 新聞から得た情報から考えを持つことや友達と意見を交流すること、さらに知りたいことの意識化などの学習活動を盛り込んでいます。

特長2

新聞活用によって情報活用能力を育成する

- 写真やグラフなどの視覚的な情報と文字情報を組み合わせて情報を捉える、自分の考えの根拠と情報をつなげるなど、情報活用能力を育成するための学習方法を提案しています。
- 新聞の特徴(地域・分野・表現方法等の多様性、最新、時節等の時事性など)や学習指導要領(主に国語や社会)の指導事項等を踏まえた学習方法となっています。

特長3

効果的・効率的に学習する

- 国語の授業の中に取り込んだ学習、社会の学習に活かす資料収集の方法、短時間で継続した活動など、学習効果を上げ、学習時間の効率的な確保を目指した学習方法を提案しています。
- 授業や朝学習、家庭学習等で、学習を円滑に進めるために、活用方法に合わせたワークシートを付けています。
- ワークシートは、県 HP から Word データをダウンロードできます。学校・学級での教育活動の実情や、個人やグループなどの学習形態に合わせたアレンジが可能です。

